

インフルエンザ連絡用紙

記入例

野洲養護学校長 宛

やす

受診した医療機関

病院 医院 診療所

診断名と主な症状 (診断名を記入し、あてはまる症状を○で囲む)

診断名	インフルエンザ (A 型)
症状	頭痛 ・ 発熱 (38.6 °C) ・ 腹痛 ・ 下痢 ・ 吐き気 ・ 嘔吐 せき ・ のどの痛み ・ 関節痛 ・ その他 ()

休んだ期間 令和 ○ 年 △ 月 ○ 日 (月) ~ △ 月 ● 日 (金)

上記のとおり連絡します。

令和 ○ 年 △ 月 □ 日

小・中・高 年組

児童生徒名 篠原 野洲子

保護者名 篠原 野洲男

忘れずにご捺印をお願いします。↑

インフルエンザ以外の感染症で休む場合は医師の証明書が必要です。証明書は学校にあります。

特に予防すべき第二種及び第三種の感染症の種類と、大まかな出席停止の期間は以下の通りです。

第二種の感染症

インフルエンザ...発症後5日、かつ解熱後2日(幼児3日)が経過するまで

百日咳...特有の咳が消失するまで または、5日間の適正な抗菌剤による治療が終了するまで

麻疹(はしか)...解熱した後3日を経過するまで

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)...耳下腺・顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後5日間を経過し、かつ全身状態が良好となるまで。

風疹...発疹が消失するまで

水痘(みずぼうそう)...すべての発疹が痂皮化するまで

咽頭結膜熱(プール熱)...主要症状が消失した後、2日を経過するまで

結核...症状により、学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで

髄膜炎菌性髄膜炎...症状により、学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで

第三種の感染症

コレラ 細菌性赤痢 腸管出血性大腸菌感染症 腸チフス パラチフス 流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎 その他の感染症

...症状により、学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで

ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めるときは、出席停止の期間が変わることもあります。

インフルエンザ連絡用紙

野洲養護学校長宛

受診した医療機関

病院・医院・診療所

診断名と主な症状 (診断名を記入し、あてはまる症状を○で囲む)

診断名	インフルエンザ (型)
症状	頭痛・発熱(℃)・腹痛・下痢・吐き気・嘔吐 せき・のどの痛み・関節痛・その他()

休んだ期間 令和 年 月 日 () ~ 月 日 ()

上記のとおり連絡します。 令和 年 月 日

小・中・高 年 組 児童生徒名

保護者名

インフルエンザ連絡用紙

野洲養護学校長宛

受診した医療機関

病院・医院・診療所

診断名と主な症状 (診断名を記入し、あてはまる症状を○で囲む)

診断名	インフルエンザ (型)
症状	頭痛・発熱(℃)・腹痛・下痢・吐き気・嘔吐 せき・のどの痛み・関節痛・その他()

休んだ期間 令和 年 月 日 () ~ 月 日 ()

上記のとおり連絡します。 令和 年 月 日

小・中・高 年 組 児童生徒名

保護者名